

## 堺会合衆

### (さかいかいごうしゅう・さかいえごうしゅう)

中世の堺には、豪商(ごうしょう)や町衆(まちしゅう)のリーダーが集まった「会合衆(かいごうしゅう)」といわれる組織があり、どくどくの運営をしていました。このため、堺は特定(とくてい)の支配者(しはいしゃ)に支配されない自治都市(じちとし)でした。まち全体が海と堀にかこまれた「環濠都市(かんごうとし)」というつくりだったことが、そうした自治都市堺をかたちづくりしました。

#### Q. 会合衆にはだれがいたの？

A. 千利休(せんのりきゅう)などがはいていたよ。

#### Q. 千利休(せんのりきゅう)ってだれ？

A. 1522年、堺の商人の家に生まれた茶人だよ。10代のころ堺の有名な茶人である武野紹鷗(たけのじょうおう)に茶の湯を学んだんだよ。利休は紹鷗(じょうおう)のわび茶をさらに求め、茶の湯の作法をさらに簡単にし、「わび・さび」「一期一会(いちごいちえ)」などの言葉で伝えられる日本独自のわび茶をつくったんだよ。

くわしくはこのホームページの「千利休」をさがしてみよう！

出典：堺市ホームページ[2012/8/15 現在]

[http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/kihonkeikaku\\_11.html](http://www.city.sakai.lg.jp/kanko/kihonkeikaku_11.html)

平成 28 年度版堺市中学校社会科『わたしたちの堺』P42 堺市教育委員会